

意見一覧及び対応

回答者 No.	設問	基本方針	共感	意見要旨	対応方針	計画に反映済	計画に反映	今後の計画や取組の参考
1	Q1	重点的取組①	まあまあ共感できる	①挑戦、今あるものを引き続き続けていくことも重要だが、どうしても時代の流れがある。その時に欲しいもの、求められているものにうまく変化、調整していくことも必要だと感じます。そのための挑戦も必要かと。また、個人だけでは限界があります。 ②必要な知識、柔軟な考え方を大学生や静岡市とともに考えて行動に移していくことが求められます。	①② ご意見のとおり、時代の流れに合わせた挑戦を推進していきます。行政として、どういった支援が求められているかを把握し、個々の個店の頑張りを支えていけるようにしていきます。また、いただいたご意見につきましては、今後の商業振興の参考とさせていただきます。			○
1	Q2	その他提案		①各個店の魅力を発信するために、町内会や静岡市との連携で、店舗の位置や特徴を記したマップの作成などの補助が欲しい。あまりパソコンやスマホが苦手でも、順序よく入力していけば、簡単に紹介ページができてしまう。またマップに表示されるなどが欲しい。または紙媒体での作成費用の補助が欲しいです。 ②静岡市で、簡単なアプリ、SNSで気軽に紹介できるページなどが欲しいです。 ③各町内会でのイベントや祭りなどの補助や広告の手伝いも欲しい。 ④イベント日時内容、参加申し込み、電子、紙媒体でお願いしたい。 ⑤空き店舗に関して、情報が出たらわかるようなものが欲しい。また、飲食店可能、物販や体験が可能、アパレルのみ、などその地域ごとの特色での色分けというか棲み分けも面白いと思う。同じ系統でエリア分けできれば、宣伝もしやすいし、イベントや催しもやりやすいと思う。 ⑥飲食店可能エリアに関しては、二オイや煙に関して寛容な部分欲しい。 ⑦火災は困るが、必要な消防施設、これだけあれば飲食店の開業がしやすい。とかわかりやすくして欲しい。	①③ 商店街に対するマップ作成やイベント開催の補助メニューについては、商店街トータルサポート事業補助金や商店街イベント振興事業補助金を活用できます。ただし、町内会は対象としておりません。町内会に対する補助のあり方については、関係部署と調整のうえ、検討していきます。 ⑤ 空き店舗問題については、当課としても大きな課題と認識しています。いただいたご意見を参考に、今後の空き店舗対策を検討していきます。 ②④⑥⑦ いただいたご意見につきましては、今後の商業振興の参考とさせていただきます。	○		○
1	Q3	その他提案		①各店舗、企業の取り組みや売りを宣伝できる場。各月での情報収集、そして発表の場があるとわかりやすい。欲しい物がどこへ行けば手に入るのか。希少な物、ここでしか手に入らない物がある。という宣伝ができたり。工事や機材が揃う場所の紹介も。ホームページを作ったり、企業や営業の努力も必要だけれど、静岡市でうまくわかりやすい物が欲しい。 ②簡単に手に入る情報が欲しい。見やすい、アクセスしやすい、探しやすい。タウンページ、食べログじゃないけど、索引や種類、分類ごとの検索。困ったらここへ、水道、電気、ガス、まずは聞けるところ調べられるところがもっと手軽に。	①② いただいたご意見は、今後の商業振興の参考にさせていただきます。			○
2	Q1	政策3、4	まあまあ共感できる	骨子(案)の体裁上致し方ない部分だと思いますが、施策の取組例について抽象的に感じます。特に基本政策3,4について、危機的な人口流出を抜本的に解決する実効性が明確に示されるべきではないでしょうか。	人口流出・人口減少の危機感は当課としても強く感じているところであります。人を呼び込むための各施策の検討・実施にあたっては、商業振興審議会や専門家の意見、先進事例等を参考にしつつ、毎年PDCAを回しブラッシュアップしていきます。			○
2	Q2	目指す将来像		基本政策、重点的取組を拝見したところ、このまち独自の魅力を対外的に発信していく中長期的なロードマップが必要ではないかと思えます。現代ではメディアは勿論、Web/SNSなどICT技術を駆使して、いかに他と差別化できるか、ローカルムーブメントとして話題に出来るかが重要ではないでしょうか。	「静岡市らしさ」の創出は当課としても課題として感じているところです。今後、ホビーや桜えびなど、本市の地域資源を絡めながら、独自の施策を展開していけるよう、検討を進めていきます。また、情報発信につきましても、関係部署と連携し、効果的なものとなるよう検討していきます。			○
2	Q3	その他提案		例えば外食チェーン業界は「炭焼きレストランさわやか」様のように、敢えて県外へ進出しないことを企業バリューとしてプロモーションの礎にして県外からの来静動機を獲得しております。今以上に“ここにしかない”をキーワードに戦略的な地域商業イノベーションに期待します。	“ここにしかない”といった特別感は、商業の発展において重要なキーワードであると感じています。いただいたご意見につきましては、今後の商業振興の参考とさせていただきます。			○
3	Q1	体系図	まあまあ共感できる	イラストイメージがよかった。まちというしっかりとした土台があつての商店街であり、個店であると思う。	「個店」「商店街」「まち」の3つの主体を花に見立てております。この絵のように、3つの主体がそれぞれの役割を果たしながら、商業が発展できるように計画を推進していきます。	○		
3	Q2	目指す将来像		市民1人1人が自分のまちの宝を理解した誇れるまちづくりが進むと、交流人口の増加につながるのではないかと思います。	ご意見の通り、郷土愛、シビックプライドの醸成については、地域コミュニティ創出の大事な要素であると認識しています。いただいたご意見は、今後の商業振興の参考とさせていただきます。			○
3	Q3	その他提案		まちなかに駐車・駐輪場代を気にせずこれのような環境が実現するといいいのではないかと。(例:市民なら2H以内無料とか)実験的にやってみたらどうか。	いただいたご意見につきましては、今後の商業振興の参考とさせていただきます。			○
4	Q1	体系	まあまあ共感できる	個店が元気になれば、商店街が元気になり、まちが元気になる。その逆もまたしかりで、それを実現するのは人が重要です。	ご意見のとおり、「まち」「商店街」「個店」それぞれに仕掛人となるような「人」存在しています。それぞれの立場で人が輝いていけるよう、行政も連携して取り組んでまいります。いただいたご意見につきましては、今後の商業振興の参考とさせていただきます。			○

4	Q2	その他提案		空き店舗の利用については、とても重要ですが持ち家の方は店舗から自宅に建て替えてしまうので、店舗利用が出来なくなってしまうという問題があります。貸店舗として改装、リフォームしてもらえよう補助や仕組みが必要かもしれません。	空き店舗問題については、当課としても大きな課題と認識しています。いただいたご意見を参考に、今後の空き店舗対策を検討していきます。			○
4	Q3	その他提案		静岡市の魅力がUPしていく事が大事！	本市の魅力向上に向け、他計画とも連携しながら今後も取り組んでいきます。	○		
5	Q1	全体像	まあまあ共感できる	共感できる	いただいたご意見につきましては、今後の商業振興の参考とさせていただきます。			○
5	Q2	その他提案		夜まで空いている喫茶店など、お酒が飲めなくても楽しめるお店ができればうれしいです。	いただいたご意見につきましては、今後の商業振興の参考とさせていただきます。			○
5	Q3	その他提案		市街地は雪が降らないので、モータースポーツや、スケートボード用の公園を作るなどサブカルチャーの支援に力を入れてはどうかと思います。	いただいたご意見につきましては、今後の商業振興の参考とさせていただきます。			○
6	Q1	政策2	共感できる	静岡市市街地には立派な商店街がいくつもあります。そこが活性化すれば地元にもどんどん元気がでてくると思います。	商店街が数多く残っていることは、本市の特長の一つであります。商店街振興につきましては、政策2に掲げた通り、地域コミュニティ等の商店街の役割に応じた振興が必要であり、第2次計画では、そういった商店街の役割を見つめ直すことから始めることで、商店街の再活性化を図っていきます。	○		
6	Q2	政策3		市街地を歩いていて感じるのは、ちょっとスマホで調べたい、メール返信をしたい、少しだけ座って休みたいと思った時に座れる場所が無い事です。お店に入るほどではないからつい急いで移動してしまう。商店街の歩道にずーっと長いベンチを設置していつでも誰でも座ってのんびり出来る場所を作るのはどうでしょう？	中心市街地における回遊・滞留の取組につきましては、関係部署と連携して現在検討を進めています(政策3、②歩いて楽しい空間の創出)。いただいたご意見につきましては、関係部署と共有のうえ、今後の中心市街地活性化施策の参考とさせていただきます。			○
7	Q1	重点的取組①	まあまあ共感できる	縦割り行政と言われぬよう、関連部署との調整・連携	他分野との連携促進については、政策4まちの取組として実施していきます。いただいたご意見につきましては、今後の商業振興の参考とさせていただきます。	○		
7	Q2	政策3		中部横断自動車道を生かした様々な商機を活かした取り組みを推進	中部横断自動車道をはじめとする商機を活かした取組については、第2次計画の新しい取組として政策4に位置付けています。具体的な事業につきましては、関係機関と調整・連携を図りつつ進めていきます。	○		
7	Q3	政策1		「生産者」「仲卸」「店舗」「消費者」の連携から『ありそうでない店』の発掘 また、その支援により一層の活性化推進	「連携」というキーワードを軸に、「特別感」のあるお店の創出を進めていきます。いただいたご意見につきましては、今後の商業振興の参考とさせていただきます。			○
8	Q1	政策1	あまり共感できない	静岡市の人口減少に加え、物価高騰、繁華街の高い家賃等、小売店舗が増えるとは思えない。	ご意見の通り、商業を取り巻く現状は厳しく、今後も小売店舗は減少が予想されています。第2次計画では、この減少率を食い止めることができるような施策を検討・実施していきます。	○		
8	Q2	政策3		新幹線(ひかり)が停車駅の目の前に国道が走り、歩いて5分~10分で繁華街と言う好立地の街にも関わらず、通勤手当(新幹線通勤)を貰えるような企業に勤めている関東圏や名古屋周辺に住む人達を向かい入れる政策は無いのでしょうか？ 東京、名古屋へ2時間以上掛けて通勤しているような年収の高い世代が移り住みたい、安くで、便利に住みやすいと思う街になれば、税収も人口流動も増えそうに思います。若い世代は、夢を持って都会に出て行きます。それを留まらせるのではなく、都会よりも安く住めて、通勤出来る、自然も多い、便利な街になって欲しいと思います。	いただいたご意見につきましては、関係部署と共有し、今後の商業振興の参考とさせていただきます。			○
8	Q3	その他提案		公金の無駄を省く大改造を市民と共に広く進めていく。更にサッカーの街とも言われる静岡市なのだから、もっと、オフ期間にエスパルスの選手と市長や市民の交流イベントを駿府城公園や青葉公園でゆったりと言った、静岡市にしか無いようなものを、市民で盛り上げていけるような機会が増える事をのぞみます。	いただいたご意見につきましては、今後の商業振興の参考とさせていただきます。			○
9	Q1	全体像	共感できる	共感できる	いただいたご意見につきましては、今後の商業振興の参考とさせていただきます。			○
9	Q2	政策3		来訪客の回遊	中心市街地の回遊につきましては、政策3②歩いて楽しい空間の創出にあるように、中心市街地活性化基本計画にあわせ、関係部署と連携して進めていきます。	○		
9	Q3	政策3		賑わい創設 青葉シンボルロードの利活用 電源の増設 申し込み方法を簡便に	まちの賑わい創出、青葉シンボルロードの利活用については、中心市街地活性化施策として、歩いて楽しい空間の創出に向け現在取り組んでおります。電源や申込方法等については、関係部署と共有のうえ、今後の商業振興の参考とさせていただきます。	○		
10	Q1	方向性	あまり共感できない	「継続発展」や「行ってみたい」、「寄ってみたい」街としてプロデュースしたい意気は理解できるものの、基軸となるファクトが曖昧で、ポイントを絞ったテーマ作りが見えないため。	本計画は、市域全体を対象とした基本計画であるため、ご意見のようなテーマを絞り込んだ方向性を打ち出していませんが、上位計画と整合を図りながら、特色ある事業を検討していきます。いただいたご意見につきましては、今後の商業振興の参考とさせていただきます。			○
10	Q2	方向性		魅力を発信することは商業の活性化には必要なことで、日本全国の各市町村でアイデアを出していることは周知の事実であります。そんな中で「静岡市だからこそ！」という、強いスローガンは独自性を出さなければ、高度情報化社会の中で、魅力的な街づくりは難しいと思う。「静岡市」「旧清水市」だからこそそのアピールポイントを明確に打ち出せなければ、47都道府県の各市区町村で独自性は見えないと思う。	「静岡市らしさ」の創出は当課としても課題として感じているところです。今後、ホビーや桜えびなど、本市の地域資源を絡めながら、独自の施策を展開していけるよう、検討を進めていきます。また、情報発信につきましても、関係部署と連携し、効果的なものとなるよう検討していきます。			○
10	Q3	方向性		静岡市の魅力が「お茶」「家康」「サッカー」である事は、日本全国民が認識している事実であると思います。そのなかでも、近年話題に上がるのは清水駅前のサッカー専用スタジアムであり、商店街の再開発であると考えます。街づくりと商業の発展は、どの自治体も取り組んでいる難問であり、静岡の(特に清水区では)オリジナリティと、アイデンティティは「サッカー」であります。他の自治体ではなく、静岡だからこそ行きたい、寄りたい「サッカーの街」になりえると考えます。	いただいたご意見につきましては、関係部署と共有のうえ、今後の商業振興の参考とさせていただきます。			○
11	Q1	政策1、3	まあまあ共感できる	「大型店・事業者間の連携強化」、「資源・基盤を活かした商業の展開」の施策に共感できる。	第2次計画の政策として着実に実施していきます。	○		

11	Q2	政策3		まちなかの空洞化が進んでいるように感じます。中心市街地に活気が戻るような施策を期待しています。	中心市街地については、第2次計画においても重点エリアとして位置づけられます。中心市街地活性化基本計画と連携し、積極的に施策を実施していきます。	○		
12	Q1	政策4	共感できる	人口減少下で外から人を呼んでくることはとても重要だと思う。	政策4の取組として、着実に実施していきます。	○		
12	Q2	全体像		基本方針には共感できますが、尖った事業は無いように受け取れます。ここにしかない尖った事業を打ち出してみたらどうでしょうか	本計画では、重点的取組として中心市街地への重点的な施策展開と、まちづくり人材の発掘・活用を掲げています。施策のなかでも、本市ならではの事業が展開できるよう、今後も検討していきます。	○		
13	Q1	政策2	共感できる	商店街も廃れて来ているなかで、今まで通りではいけないと思うから	次代を見据えた商店街の振興は政策2に位置づけ、着実に実施していきます。	○		
13	Q2	成果指標		市内店舗数について、小売・飲食だけなのは何故でしょうか。市民に身近な産業は福祉や教育含め多岐に渡ると思います。むしろそういったものが増えていく世の中かと思えますがいかがでしょうか	ご意見の通り、生活に密接にかかわるサービス業については、商業として進捗管理していくべき業種でございます。経済センサス等の統計データを活用し、生活関連サービス業の店舗数についても把握していきます。		○	
13	Q3	基本方針II		ローカルファーストと言う考え方がありますが、取り入れてみてはいかがでしょう	ご意見の通り、地域内消費を促進するローカルファーストの考え方も非常に重要であると考えています。政策4が外から人を呼び込む取組ですので、それだけではない内側の消費を高める取組も基本方針IIの中で取り入れていきます。		○	
14	Q1	基本方針①	まあまあ共感できる	大学生とのコラボ等面白そうな取り組みがあり、柔軟な印象を受けたため。	シビックプライドの醸成や、地域と共存する商店街の推進に向け、学生と連携した商店街活性化を推進していきます	○		
14	Q2	方向性		静岡市らしい特徴があって、魅力的な取り組みを期待します。	「静岡市らしさ」の創出は当課としても課題として感じているところです。今後、ホビーや桜えびなど、本市の地域資源を絡めながら、独自の施策を展開していけるよう、検討を進めていきます。			○
15	Q1	全体像	共感できる	計画の基本的な考え方に共感もてる	いただいたご意見につきましては、今後の商業振興の参考とさせていただきます。			○
15	Q2	目指す将来像		ぜひ、目指す将来像を実現してください	目指す将来像の実現に向けて、基本方針に基づいて着実に実施していきます。	○		
16	Q1	基本方針①	まあまあ共感できる	静岡市で「おまち」と呼ばれるまちなかでは、滞在するところよりも通過するところが多くなっているように感じている。原因としては、沿道店舗の衰退や滞在拠点の繋がりが少なく、まちなかへ目的を持っていく際も、ついでに他のところも回ってみようとなりにくい。そこで、個店の成長を促進するだけでなく、商店街も従来の形ではない時勢を捉えた持続可能性という観点で進んでいくこと。それと併せて、強化した商業機能や魅力に人を呼び込むために人流データや社会基盤を活用していく計画であったから。	ご意見の通り、中心市街地の回遊はまちなか活性化の課題であると認識しています。第2次計画を着実に推進し、まちなかの歩行者増加や回遊性の向上に繋げていきます。	○		
16	Q2	重点的取組①		前段で記載した他のところも回ってみようと思うためには、行く先に活気のある店舗が集中していることだと感じている。セノバ前の歩行者通りや呉服町通り、北街道等で惹かれるお店が少しずつ増えてきた一方、概ねその隣の店舗はシャッターが閉まっていたり、あまり人が立ち入らないようなお店だったりする感覚が多い。そのため、お店や商品のブランディングが進んでいけば、まちなか全体が「しずおかのおまち」としてブランディング化され、ブランディング化されることで店舗1つ1つがよりよくなる考えがまとまり、人が集まる「しずおかのおまち」になることを期待したい。	ブランディングは、個店をはじめ、まちなか活性化の重要な要素であると認識しています。第2次計画では、専門家の助言や先進事例を参考に、個店のブランディング、まちのブランディングの取組を推進していきます。			○
16	Q3	重点的取組①		他県から来る知り合いと駅前やまちなかを周ると「静岡って思った以上に色々ある」「意外と栄えている」等と言われることが多く、なかなか静岡市が知られていないと感じるため、今の時代的に他県の人にも魅力を知ってもらうための広告やSNS等での継続的な情報発信が必要と思われる。ただ、市民目線で見ても、静岡市に他県から人を呼ぶ目的を作るのが難しく、コストコ(浜松)や沼津港、三島スカイウォーク、熱海伊豆の温泉等どうしても市外に連れていくことが多い。お茶やイチゴ等の特産品はあるが、静岡市に行かなければ体験できないもの(例えば川越のような食べ歩きができる通りや原宿のような買い物に人が集まる場所等)が何か1つでもあればさらに「しずおかのおまち」がブランド化されていくのではないかなと思う。	コト消費については、政策4①【コト消費】の推進による集客の強化に位置づけ、まちは劇場をはじめとする事業と連携しながら推進していきます。「静岡市らしさ」の創出は当課としても課題として感じているところです。今後、ホビーや桜えびなど、本市の地域資源を絡めながら、独自の施策を展開していけるよう、検討を進めていきます。	○		
17	Q1	政策3	共感できる	ECの進展で、市民の購買行動が大きく変わっているなか、実店舗はどんな人たちが、どういう風に使っているかを、商店街の実態調査、人流データなどで確認し、次の政策に反映していくのはとても有効だと思います。	人流等の情報については、デジタルを活用して収集に努め、政策施策に反映していけるようにしていきます	○		
17	Q2	政策2		重点的取組にある、商店街の役割を見つめ直すに、とても期待しています。静岡市はまだ商店街が残っているほうだと思いますが、他市町だと駅前ですら商店街が壊滅的で、これでいいのだろうかとか良く感じます。商店街は、これまでもモノを売るだけの場所ではなく、地域コミュニティを支える機能を担ってきたと思うので、今後も時代に合った何らかの役割を付加し、地域とともにある機能であってほしいと思います。	本市の中心市街地は、他都市と比較しても賑わいがある状況だと思います。一方で、中心市街地においても、商店街の置かれている状況も厳しさを増していますので、今まで通りではない、抜本的な対策ができるように取り組んでいきます。			○
18	Q1	政策1	まあまあ共感できる	・PDCAが回せていて、第1次の計画を検証の上、今回の商業振興基本計画案が策定されているから。 ・ナショナルチェーンの多い大型店に、地元ならではの個店の魅力が入り込むことによる連携による相乗効果は大きいと感じるから	個店と大型店の連携については、政策1②大型店・事業者間の連携強化に位置づけており、互いにか相乗効果を生み出せるよう、積極的な連携を推進していきます。	○		

18	Q2	成果指標		・自分は、旧清水市で生まれ、ずっと清水区と関わりを持つ中で、育ってきました。清水地区の中心市街地の市民満足度(買い物環境へ満足度)50%は難しいと思います。少しでも、市民満足度を向上させるためにも、魅力ある個店・魅力ある大型店の誘致が、清水のまちを、大事に思う方々によってなされることを期待しています。	中心市街地の市民満足度の向上については、区域内外の関係者と共創することで、達成に向けて取り組んでいきます。	○		
19	Q1	政策 1	共感できる	個店の創業・成長を尊重する基本計画であると考えているため	個店は商業の主役であり、本市の商業が発展していくには、創業を含めた個店の成長が不可欠であると認識しています。個店の成長を支えることで、まちの活性化を目指していきます	○		
19	Q2	政策 1		静岡市は商業・サービスが中心を担ってきた都市であり、創業も含め、より活気あるまちづくりに期待しています。		○		
19	Q3	政策 3		歴史・文化などとコラボレートしたまちづくり。駿府城を中心とした回遊ルートの開発。歴史的な遺産の積極的な活用と情報発信など	政策4②で掲げたとおり、駿府城をはじめとする歴史資源、地域資源を活かした商業の展開を推進していきます。	○		
20	Q1	全体	共感できる	共感できる	いただいたご意見は、今後の商業振興の参考とさせていただきます。			○
20	Q2	政策 2		エリア毎の商店街の活性化	エリアごとの商店街の事情に合わせた活性化が必要なことについては、当課としても認識しております。商店街が自発的に役割を見つめ直すことを支援しつつ、行政としても商店街に入り込み、共創して次代を見据えた商店街づくりを進めていきます。			○
20	Q3	その他提案		他の地域に無い革新的な取り組みを期待したい。	他都市のモデルとなるような、静岡市独自の取組を創出できるよう、審議会や専門家の助言をいただきながら、事業を検討・実施していきます。			○
21	Q1	全体	まあまあ共感できる	厳しい現実をちゃんと見てると思います。	ご意見の通り、商業を取り巻く現状は厳しく、今後もこの状況は続いていくと想定されます。第2次計画では、こうした状況を立てなおしていけるよう、取り組んでいきます。	○		
21	Q2	計画期間		8年は長いと思います。コロナや物価問題があるいま、もっと短い期間で作った方が良いのではないのでしょうか	ご意見の通り、8年間の中で様々な時代の潮流の変化があるかと思えます。柔軟に変化に対応して改訂していけるように、進捗管理や随時見直しをおこなうことを明記するとともに、第3期中心市街地活性化基本計画の終期である令和8年度にあわせ、見直しを実施していきます。			○
22	Q1	横断的取組	まあまあ共感できる	多様性という考え方が入っているところはとてもいいと思うが、実現方法がよくわからない。	当計画の「多様」は、店主の属性やお店の雰囲気、業種・業態、品揃え等、様々なものが多様であることを指しています。実現に向けて、個店の個性を磨く取組や創業・起業支援を進めるとともに、例えば女性向けの創業相談や多文化のマルシェの開催等、様々な取組に多様性の実現に向けた要素を取り入れていきます。	○		
22	Q2	横断的取組		多様性は店主と市民と両側の理解が必要です。理解を深められる施策を期待します。	いただいたご意見につきましては、今後の商業振興の参考とさせていただきます。			○
22	Q3	政策 3		消費喚起策に期待します。	市内の商業が盛り上がるような施策を検討・実施していきます。	○		
23	Q1	全体	まあまあ共感できる	静岡市はまちなかが元気だと思います	本市の中心市街地は、他都市と比較しても賑わいがある状況だと思います。一方で、中心市街地においても、商店街の置かれている状況も厳しさを増していますので、今まで通りではない、抜本的な対策ができるように取り組んでいきます。	○		
23	Q2	政策 1		行ってみたいくなる個店が増えることを期待しています	個店は商業の主役であり、本市の商業が発展していくには、創業を含めた個店の成長が不可欠であると認識しています。個店の成長を支えることで、まちの活性化を目指していきます	○		
23	Q3	重点的取組①		広域の連携も考えてはどうでしょうか	ご意見の通り、広域での連携も視野に入れつつ、人を呼び込む施策をはじめ事業を推進していきます。			○
24	Q1	体系	共感できる	花の絵がわかりやすい	「個店」「商店街」「まち」の3つの主体を花に見立てております。この絵のように、3つの主体がそれぞれの役割を果たしながら、商業が発展できるように計画を推進していきます。	○		
24	Q2	政策 1, 4		行きたいと思えるまちにするために、個店ががんばるのは少し小さすぎる気がします。もっと県外から人呼び込むためには大きなコンテンツが必要と感じます。	大きなコンテンツとして外から人を呼んでくるために、「静岡市らしさ」の創出は当課としても課題として感じているところです。今後、ホビーや桜えびなど、本市の地域資源を絡めながら、独自の施策を展開していけるよう、検討を進めていきます。	○		
24	Q3	政策 3		私は歴史巡りが好きですので、大河ドラマ館をもっと活用して欲しいです。	大河ドラマ館をはじめ、本市に関連する様々な機会をしっかりと活かせるように、商店街や個店の方々と共に共創していきます。	○		
25	Q1	全体	わからない	計画の存在を知らなかったため。	当計画が皆様に周知されるよう、情報発信に努めていきます			○
26	Q1	全体	まあまあ共感できる	商業が活性が地域の活性に結びつくと思うから。	商業とまちづくりは密接に関連していますので、商業を活性化させることで、商店街の活性化、地域の活性化に努めていきます。			○

27	Q1	政策3	まあまあ共感できる	行き来しやすければ良いと思う。 歩行者と中部横断道の間、コミュニティバスや次世代モビリティなどを安易に利用できて歩くことが気にはならない距離にある商店街へ移動しやすくするよう。	回遊性の向上に向けた取組については、関係部署と連携しながら取り組んでいきます。 いただいたご意見につきましては、今後の商業振興の参考とさせていただきます。			○
27	Q2	全体像		賑わってる商店街は、計画案のようなことをやってきたのだろうか？ 成功例が同じことをやっていたのなら計画の確からしさが増すように思う。	事業の実施に当たっては、先進事例を研究し、本市の地域性に合ったものへ改善させながら取り組んでいき、PDCAを回すことで、さらにより良い事業へとしていきます。			○
27	Q3	その他提案		鷹匠、人宿町へは移動距離があっても人の流れがあると思うけど、清水の各商店街は寂しい。 これはそもそもの人口の違いだけの問題なのか？	清水の商店街の活性化に向けて、港側の開発や中心市街地活性化基本計画と連携しながら取り組んでいきます。	○		
28	Q1	重点的取組②	あまり共感できない	まちなかに重点的には正しいと思います	中心市街地については、第2次計画においても重点エリアとして位置づけられます。中心市街地活性化基本計画と連携し、積極的に施策を実施していきます。	○		
28	Q2	その他提案		もっと遊べる商業施設が欲しいです	店舗の出店計画に関しては、各企業の判断において決定されていくものであるため、静岡市はその意思決定に関与するものではありません。大型店が中心市街地活性化へ出店したくなるような、周辺環境を整える取組を進めていきます。			○
28	Q3	その他提案		商業施設の誘致はできないのでしょうか。				○
29	Q1	政策1	共感できる	個店の成長が一番重要だと感じるから	個店は商業の主役であり、本市の商業が発展していくには、創業を含めた個店の成長が不可欠であると認識しています。個店の成長を支えることで、まちの活性化を目指していきます	○		
29	Q2	その他提案		新商品開発補助に期待しています。	個店の成長を促進する新商品開発の支援について、検討・実施していきます。	○		
29	Q3	方向性		商業は人が集まるところで栄えると思います。官民一体でまずはまちづくりの仕掛けからしていくことが大事だと思います。	商業とまちづくりは密接に関連していますので、まちづくりの取組と連携し、まちを活性化させることで、商店街の活性化、地域の活性化に努めていきます。			○
30	Q1	重点的取組①	まあまあ共感できる	挑戦や変革は絶対的に必要だと思う	第2次計画では「個店」「商店街」「まち」それぞれの挑戦・変化・共創を推進し、計画を推進していきます。	○		
30	Q2	成果指標		美容院やネイルサロン等も商業だと感じます。小売業や飲食業だけみるのは少し変だと思えます	ご意見の通り、生活に密接にかかわるサービス業については、商業として進捗管理していくべき業種でございます。経済センサス等の統計データを活用し、生活関連サービス業の店舗数についても把握していきます。			○
30	Q3	政策3		全国的なお土産をつくることから始めてみてはいかがでしょうか	本市の産品が全国的なものとなるよう、開発・情報発信等に努めていきます。			○
31	Q1	重点的取組①	まあまあ共感できる	共創が良いキーワードだと思います。	関係者が一丸となって創り上げていくことを目指し、共創というテーマを設定いたしました。	○		
31	Q2	重点的取組①		変化よりも「変革」、「成長」よりも発展の方が良いと思います	「変化」については、緩やかに変わっていくことも想定し「変化」という言葉を使用しています。また、「成長」については、量的成長ではない質的な「成長」を意図しております。ご覧いただく方に誤解を招くことがないよう、質的成長である点を明記させていただきます。			○
31	Q3	重点的取組①		計画に書いてある通り、農商工連携がまずは大事だと思います。	農商工連携に向け、担当者による打合せを実施するなど情報共有を密にして事業を推進していきます。			○
32	Q1	重点的取組②	共感できる	人宿町のように、まちづくりを進めるリーダー的存在が必要と感じます。	重点的取組②において、まちづくり人材の発掘・活用を掲げています。まちづくりを先導し、地域を盛り上げてくれる存在を数多く発掘できるよう、事業を推進していきます。	○		
32	Q2	重点的取組②		まちづくり人材が市を盛り上げてくれることを期待します。		○		
32	Q3	方向性		市民の快適性を重視するのであれば、ロードサイド店舗も潰れないように支援して欲しいです。	当計画では、市域全体の商業の状況を見つ、とくに支援する必要がある中心市街地や商店街に視点を当てて振興策を検討しています。そのため、ロードサイド沿いの店舗に向けた支援策等は検討していませんが、個店であることに変わりはないため、個店向けの支援策の活用等を検討していきます。			○
33	Q1	全体	まあまあ共感できる	総論として方向性に共感が持てますが、地域性のような要素が少なく感じます。	エリアごとの事情に合わせた商業の活性化が必要なことについては、当課としても認識しております。2つの中心市街地活性化基本計画をはじめ、地域にあわせた商業が展開できるように進めていきます。			○
33	Q2	政策2		商店街ごとだけでなく、地区ごと、地域ごと事情が異なります。静岡と清水だけでも商業の現状は違うと思うので、エリア別の商業の展開等を増やしてみたらいかがでしょうか。				○
33	Q3	政策2		地域コミュニティを意識するのであれば、自治会や町内会との連携も必要かなと思います。	いただいたご意見につきましては、今後の商業振興の参考とさせていただきます。			○

34	Q1	政策 1, 3	共感できる	①起業・創業相談、空き店舗出店支援等、金融機関として積極的に取り組むべき内容が多数見受けられ、自治体と金融機関が連携することでさらなる効果が期待できると思います。 ②また、『中部横断自動車道沿線自治体との物産展開催』に関しては、ぜひ連携を図りたいです。	①個店支援にあたっては、金融機関をはじめとする支援機関との連携が不可欠だと考えています。ぜひ、協力して計画を推進していければ幸いです。 ②連携を図れる事業については、本市としても積極的に連携を図ってまいりたいと思います。	○		
34	Q2	重点的取組①		個店、商店街、商品のブランディング等の支援において、金融機関と連携して大々的にイメージを定着させるなど、市のプロモーションをより効果的に行うことについて具体的な内容を期待します。	ブランディングは、個店をはじめ、まちなか活性化の重要な要素であると認識しています。第2次計画では、専門家の助言や先進事例を参考に、個店のブランディング、まちのブランディングの取組を推進していきます。	○		
34	Q3	重点的取組①		静岡市としての取組はもちろん、官民金での連携によるまちづくりをもっと活発化してほしいと考えています。また、“人が集まるまち”について、市民や事業者のニーズ調査をもっと広く行い、金融機関とも共有し新たな施策の立案等を共同で行うことが出来ればよいと思います。	産学官金の連携は、第2次計画で強化していくべき部分であると認識しております。円滑な情報共有・連携促進に向けて、会議体の創設などを検討していきます。			○
35	Q1	目指す将来像	まあまあ共感できる	地方都市は商業の種類が乏しくなりがちだと思います。多様な商業が生まれれば、多くの人に訪れてもらえ、商業振興に繋がると思ったからです。	多くの人が「行ってみたい」「寄ってみたい」と思ってもらえる多様な商業空間づくりに取り組んでいきます。	○		
35	Q2	その他提案		空き店舗の積極的な活用。自分の店を持ちたい。空き店舗で新たな試みをしたいという人は潜在的にいると思うので、そういった方々をバックアップして欲しいと思います。	空き店舗問題については、当課としても大きな課題と認識しています。いただいたご意見を参考に、今後の空き店舗対策を検討していきます。			○
35	Q3	その他提案		チャレンジするためのサポート策が必要だと思います。新たな事業や店舗の開店への積極的な支援。資金や専門家の派遣だけでなく、ゆりかごから墓場までといった手厚いサポートがあると挑戦しやすいと思います。	多くの方が挑戦することができる環境を整えることができるよう、いただいたご意見を参考に事業を検討・実施していきます。			○
36	Q1	重点的取組①	まあまあ共感できる	新たな価値・魅力を創造していくための挑戦や変化していくための仕組みは大事だと思う。	第2次計画では「個店」「商店街」「まち」それぞれの挑戦・変化・共創を推進し、計画を推進していきます。	○		
36	Q2	政策 3		商店街の活性化、個店を出店してみたいと思う魅力的なまちづくり		○		
36	Q3	その他提案		買い物へ行きたいと思う仕組みづくり→家を出て、車又は、電車、バスなどで向かう際、移動しやすいまちなのか。様々な人が気軽に移動できるか。まち(エリア)に着いたら、まちなか(エリア)が移動しやすいか。もっと買い物したい、向こうまで行ってみたいと思えるか。インターネットで簡単に買う以上の価値や満足感があるか。	インターネットで買い物をする以上の価値や回遊したくなるまちを創出できるようまちづくりの取組と連携して、商業の活性化を推進していきます。			○
37	Q1	政策 2	まあまあ共感できる	商店街の衰退は肌で感じているところですが、様々な支援が実施されていること、色々な団体の活動がわかってよかったです。	商店街の活性化に向け、引き続き様々な施策を実施していきます。	○		
37	Q2	その他提案		商店街の衰退に対して、今あるお店を延命させる・魅力をつくるという方策も必要ですが、廃業率と新規開業率の比率をみると、新規開業率を増やす方策が重要だと思います。若い人が新しいお店のオープンにチャレンジできる環境を整えて、魅力ある個店を増加させていくことで、若者の移住者も増えるのではないのでしょうか。短期間場所を貸し出してお店をオープンできるスペースなどを整備して、軌道に乗りそうなところで空き店舗を紹介してあげるといった施策もよいと思います。	ご意見の通り、開廃業における新陳代謝が悪く、とくに開業率が低くなっています。開業を促進できるように、創業・起業支援や空き店舗対策、チャレンジショップ等の事業を展開し、商業を活性化させていけるようにしていきます	○		
38	Q1	目指す将来像	共感できる	消費者は心を満たすために消費し、そこに価値を見出してくださっていると感じます。まちは劇場のように「体験や経験」を個店でも行えるよう支援していただければ消費の活性化につながると思います。	コト消費については、政策4①【コト消費】の推進による集客の強化に位置づけ、まちは劇場をはじめとする事業と連携しながら推進していきます。	○		
38	Q2	政策 1		個店同士のつながりや、まちは劇場のようなイベントによる新規顧客の獲得支援により魅力が広く伝わることを期待します。大学生によるコンサルティングにも興味があり、若い方(大学生が)どのようなことに価値を感じているのかを知り、さらに良いサービスを提供することができれば消費の活性化に貢献したいです。	まちは劇場の取組等も活用しながら、個店の成長促進に向けた取組を推進していきます。	○		
39	Q1	政策 1	共感できる	個店を応援することが商業にとって重要だと感じます	個店は商業の主役であり、本市の商業が発展していくには、創業を含めた個店の成長が不可欠であると認識しています。個店の成長を支えることで、まちの活性化を目指していきます	○		
39	Q2	政策 1		事業承継や起業、資金繰り等、金融機関と連携してやれることが多いと思いますので、金融機関とも共創して商業振興していければと思います。	個店支援にあたっては、金融機関をはじめとする支援機関との連携が不可欠だと考えています。ぜひ、協力して計画を推進していければ幸いです。	○		
39	Q3	政策 1		まずは事業承継や起業の産学官金の会議体等をつくって情報共有するのはいかがでしょうか	産学官金の連携は、第2次計画で強化していくべき部分であると認識しております。円滑な情報共有・連携促進に向けて、会議体の創設などを検討していきます。			○
40	Q1	政策 1	共感できる	個店ががんばることができるような仕掛けづくりを検討していることがわかったから	個店は商業の主役であり、本市の商業が発展していくには、創業を含めた個店の成長が不可欠であると認識しています。個店の成長を支えることで、まちの活性化を目指していきます	○		
40	Q2	重点的取組②		最近空き店舗が増えてきていると実感しています。まちなかの元気が戻ってくれればうれしいです。	空き店舗問題については、当課としても大きな課題と認識しています。中心市街地においても、商店街の置かれている状況も厳しさを増していますので、今まで通りではない、抜本的な対策ができるよう取り組んでいきます。	○		
40	Q3	政策 1		金融機関とも連携していけば、より個店一つ一つにきめ細やかなアプローチができると思います	産学官金の連携は、第2次計画で強化していくべき部分であると認識しております。円滑な情報共有・連携促進に向けて、会議体の創設などを検討していきます。	○		
41	Q1	政策 1	共感できる	個店、商店街、まち、それぞれの施策が示されており、様々なアプローチが考えられている	第2次計画では「個店」「商店街」「まち」それぞれの挑戦・変化・共創を推進し、計画を進めていきます。	○		

42	Q1	全体	まあまあ共感できる	色々なメニューが準備されているから	第2次計画では「個店」「商店街」「まち」それぞれの挑戦・変化・共創を推進し、計画を進めていきます。	○		
42	Q2	政策1		魅力的なお店がもっと増えていって欲しいです	個店は商業の主役であり、本市の商業が発展していくには、創業を含めた個店の成長が不可欠であると認識しています。個店の成長を支えることで、まちの活性化を目指していきます	○		
42	Q3	その他提案		マルイが撤退した後、ずっとそのままのようですが、何か誘致するのはどうでしょうか	店舗の出店計画に関しては、各企業の判断において決定されていくものであるため、静岡市はその意思決定に関与するものではありません。大型店が中心市街地活性化へ出店したくなるような、周辺環境を整える取組を進めていきます。			○
43	Q1	政策2	まあまあ共感できる	昔は商店街によく行ったが、今はあまり行かない。商店街について考えるのは良い事だと思いました	次代を見据えた商店街の振興は政策2に位置づけ、着実に実施していきます。	○		
43	Q2	政策2		商店街がもう一度子どもたちが行きたい場所になる事を期待しています。	商店街が地域コミュニティの核として地域になくなくてはならない存在となれば、子どもをはじめ、多様な関係者が関わるような状態が生まれると考えています。シビックプライドの醸成をはじめ、商店街と地域の関係を深めていけるように取組を推進していきます	○		
44	Q1	政策1	まあまあ共感できる	共感できる	いただいたご意見は、今後の商業振興の参考とさせていただきます。			○
44	Q2	その他提案		今の若い人たちが求めているものを積極的に取り入れていって欲しいです。	学生との連携をはじめ、これからを担う若い力を積極的に取り入れていきます	○		
44	Q3	その他提案		話題に上がるような施設の誘致をしてはいいかがでしょうか。(商業施設に限ったことではありません)	店舗の出店計画に関しては、各企業の判断において決定されていくものであるため、静岡市はその意思決定に関与するものではありません。大型店が中心市街地活性化へ出店したくなるような、周辺環境を整える取組を進めていきます。			○
45	Q1	政策1	まあまあ共感できる	まあまあ共感できる	いただいたご意見は、今後の商業振興の参考とさせていただきます。			○
45	Q2	政策3		由比や蒲原は商店街はありませんが、そういったところにもきめ細やかに目を向けていただきたい	エリアごとの事情に合わせた商業の活性化が必要なことについては、当課としても認識しております。地域にあわせた商業が展開できるように進めていきます。			○
45	Q3	基本方針Ⅱ		地産地消の推進	地域内消費を促進する取組も基本方針Ⅱの中で取り入れていきます。		○	
46	Q1	重点的取組②	まあまあ共感できる	まちの賑わいや、商店街の活性化は、地域のヒトの役割が重要であると思うので、まちづくり人材の発掘・活用する点で共感できる。	まちづくり人材の発掘・活用については、第2次計画で重点的取組に位置づけ、力強く推進していきます	○		
46	Q2	計画期間		新型コロナウイルスの感染法上の位置づけが引き下げられ、ウィズコロナの動きになってきていることや、3月から国際クルーズ船が寄港されるようになるなど、社会情勢の動向に柔軟に沿う形が望ましい。	ご意見の通り、8年間の中で様々な時代の潮流の変化があるかと思えます。柔軟に変化に対応して改訂していけるように、進捗管理や随時見直しをおこなうことを明記するとともに、第3期中心市街地活性化基本計画の終期である令和8年度にあわせ、見直しを実施していきます。			○
47	Q1	重点的取組①	共感できる	重点的取り組みでもある挑戦・変化・共創の推進は大事であると思う。新しいことに挑戦し、新しい価値を生み出すことで、市内だけでなく市外からも人を集めることができると思う。	挑戦・変化・共創の取組を推進し、市内外から人を呼び込むことができるように事業を展開していきます	○		
47	Q2	重点的取組②		中心市街地が活性化すると、まちが明るく賑わい、市民だけでなく観光客にとっても魅力が増すと思う。そのため中心市街地を重点エリアとすることは適切であると思う。 一方、子どもが生まれてからは駐車場が無料または安く利用でき、通路も広く歩きやすい、フードコートなどもある郊外型の商業施設を利用することが多くなった。中心市街地においても子連れで利用しやすい飲食店が増えたり、子どもを連れて行くことのハードルがもっと低くなればいいなと個人的に感じる。	いただいたご意見は、今後の商業振興の参考とさせていただきます。			○
47	Q3	その他提案		本編で具体的な取り組み事例として紹介されているもの(御花印帳、地域の土産を使ったチョコレートなど)はどれも面白く魅力的だと思ふ。新しい取組を創出・応援することももちろん重要であるが、既存の優れた取り組みをもっと広く周知できるといいなと感じた。	ご意見のとおり、既存の好事例の周知・発信不足は本市の大きな課題であると認識しています。好事例の横展開を進めるためにも、情報発信の取組に力を入れていきます。			○
48	Q1	成果指標	共感できる	第1次計画の、明確な成果指標が設定されていなかったことや、社会情勢の変化を的確に捉えられていなかったことの反省が、第2次計画に反映され、より実効性の伴った計画案であるように感じました。	第2次計画では、成果指標をもとに各種政策施策を実施していきます	○		
48	Q2	重点的取組①		①お店のブランディングの推進に期待します。私も以前は抵抗があったインターネット通販を、今は当たり前のように活用するようになりましたが、魅力を感じるお店には通っています。魅力を感じる部分は人それぞれだと思うので、いろんな個性のあるお店が増えるといいと思います。 ②空き店舗への出店支援に共感を得ました。補助金が出ても出店はハードルが高いと感じるため、期間限定のテスト出店を支援するような取組にも期待します。	①個店は商業の主役であり、本市の商業が発展していくには、創業を含めた個店の成長が不可欠であると認識しています。個店の成長を支えることで、まちの活性化を目指していきます ②空き店舗問題については、当課としても大きな課題と認識しています。いただいたご意見を参考に、今後の空き店舗対策を検討していきます。	○		○
48	Q3	政策1		地元の個店の商品等を日ごろから購入・活用したいと思っていますが、個人的には、初見では、「入ってみたい」よりも「入りにくい」が勝り、結局、大型店舗等に気持ちが行ってしまいます。似たような意味かもしれませんが、個店の事業主の方は「入ってみたい」とは別に「入りやすい」を意識した取組が必要だと思ふ。	ご意見のとおり、事業者側もお客様に入ってもらえるような努力が必要不可欠です。賑わっている個店等を参考にしつつ、入りやすい個店づくりへの支援も検討していきます。			○
49	Q1	全体像	共感できる	現時点の静岡の課題をクローズアップし、それに対する複数の取り組み方針が示されているから	課題解決に向けて、第2次計画を推進していきます	○		
49	Q2	その他提案		特に商店街の活性化や空き家空き地対策等、成功事例が少ない全国的な課題に対してどのような静岡市の個性を活かした対応に期待したい	空き店舗問題については、当課としても大きな課題と認識しています。空き店舗の解消に向けて、本市特有の取組が実施できるよう、検討していきます。			○
49	Q3	その他提案		情報発信	情報発信については、全市を挙げて効果的な広報ができるようにしていきます。			○

50	Q1	政策 1、3	まあまあ共感できる	歩いて楽しいまちづくりや魅力的な個店への支援を積極的にやっていき、大型店との競合も今後の課題とは思いますがともに連携して回遊性のある魅力あるまちにしていければと思います	各種施策を着実に実施し、回遊性があり、魅力的なまちを作り上げていきたいと思ひます。	○		
50	Q2	重点的取組①		人口減少が懸念される中で学生との連携にも積極的にやっていく計画となっています。学生をはじめ移住、定住者が増えて人口減少に多少の抑制ができればと思います。スタートアップ支援にも積極的に取組んでいただきチャレンジしやすいまちづくりに期待します	チャレンジしやすいまちづくりのため、スタートアップをはじめとする創業・起業支援についても、積極的に取り組んでいきます。	○		
50	Q3	政策 4		ホビーの街静岡市をもっと積極的にアピールしてはと思います	ホビーは本市が有する魅力的な地域資源であるため、積極的に連携していきます。	○		
51	Q1	全体像	わからない	抽象的な表現が多く、特徴的なものを感じられない	商業に関する基本計画であるため、幅広く事業を網羅しつつ、重点的取組として、まちづくり人材の育成や中心市街地の重点エリア化等を盛り込んであります。事業実施に当たっては、メリハリをつけ、尖った取り組みとなっていくようにしていきます。	○		
51	Q2	その他提案		商業省政課の商業振興計画であるが、もうその分野だけでの発展、解決はできない。コンパクトシティと言われ、効果のある所への集中投資といわれるが、まさに今はその時。商店街を再開発といっても今までのようにはいかない。どんなまちなかを作るかを考えてからそれに符合するものにしないと効果はない。ウォーカブルというが、歩きやすいのかということでもない。楽しいかということでもない。モータリゼーションが良いとそこばかり見ていては失敗する。周辺の交通体系を整理し、市民の理解も得てこそできていく。そろそろ本腰を入れていかないと再生不可能になってしまう。全市を挙げて取り組んで欲しい。	ご意見のとおり、商業単体での振興は限界があります。第2次計画では、まちづくりの取組との連携や他分野との連携を掲げ、商業とまちづくりが一体となった取組を推進していきます。また、第2次計画では、中心市街地を重点エリアとしています。商業の集積地である中心市街地へ集中的に商業振興施策を展開していきます。	○		
51	Q3	その他提案		まちなか居住とよくいわれるが、具体的にどうするかが無い。中心街周辺も高齢化や空き家などが増える傾向にある。人は減っていく。高層マンションもできていくが、田舎の一軒家は0円。都心は数千円。これでは移住しようがない。大雪もない温暖な静岡に住めるように家賃などを下げられるか。創造舎の民宿のように、安価に回せるものを増やすべき。まちなかは便利です。歩いてほとんどのことが間に合います。役所、病院、デパート、カフェ、コンビニなど、まちなか居住のメリットです。2階に住んで、1階にお店、これが一番です。そういう環境や仕組みを考えましょう。	まちなか居住は、中心市街地の活性化の主要な取組として推進しています。空き店舗の問題を含め、まちなか居住の推進について、いただいたご意見は、今後の商業振興の参考とさせていただきます。			○
52	Q1	全体像	まあまあ共感できる	まあまあ共感できる	いただいたご意見は、今後の商業振興の参考とさせていただきます。			○
52	Q3	その他提案		インバウンドを呼び込む施策を強力に推進してください。計画の中に、インバウンド施策はありますか。	インバウンドの取り込みについては、政策4②資源・基盤を活かした商業の展開に位置づけています。クルーズ船の寄港が再開され、インバウンドが期待出来ますので、機会を逃さず、施策を実施できるようにしていきます。	○		
53	Q1	全体	共感できる	時代の潮流にマッチした計画であるため	時代の潮流に合わせ、随時見直しも検討しながら第2次計画を推進していきます	○		
53	Q2	政策 3		大型店が出店することにより、商店街や地域の小売店は元気がなくなっているように感じる。少子高齢化、人口減少を踏まえ、生活しやすい市民にやさしいまちを実現してください。	本市では、良好な商業環境の形成に関する条例・指針を平成25年に策定しており、地域に合わせて望ましい商業を誘導できるようにゾーニングを実施しています。この指針を適正に運用することで、地域の商業を守り、市民にやさしいまちづくりを目指していきます。			○
53	Q3	重点的取組①		静岡市は商業のまちだと思います。商業だけで将来を描くのではなく、都市、保健、福祉、教育など他分野と連携することが必要だと思います。	第2次計画では、まちづくりの取組との連携や他分野との連携を掲げ、商業とまちづくりが一体となった取組を推進していきます。	○		
54	Q1	全体	まあまあ共感できる	この計画が実現したら、買い物しやすい住みやすい素敵な街になっていくだろうと楽しみにしたので	市民の方が買い物やすく、まちを歩くことが楽しめるような商業空間の創出を目指していきます。	○		
54	Q2	その他提案		実現に向けて、頑張ってください	実現に向け、第2次計画を着実に推進していきます。	○		
55	Q1	政策 1	共感できる	普段の生活では、イオンなど、特に子育て世代は1か所で買い物終わらせようとする。政策①にある②大型店・商業者間の連携強化が進めば、なかなか足を伸ばすことのできない面白なお店の商品を買うことができ、応援もできるのでもいいと思った	政策1②大型店・商業者間の連携強化を進めることによって、買い回りを促進し、互いに相乗効果を生みつつ、市民の方の満足度も高めていきます。	○		
55	Q2	その他提案		個人的には、おもしろい個店(クラフトビール販売など)が多いのが静岡の魅力の一つだと思っている。行きたくても行けない(時間がない)人と、売りたい個店がwin-winになるような連携事業に期待します。	いただいたご意見は、今後の商業振興の参考とさせていただきます。			○
55	Q3	その他提案		ある程度、大型店があっても良いのでは？	本市では、良好な商業環境の形成に関する条例・指針を平成25年に策定しており、地域に合わせて望ましい商業を誘導できるようにゾーニングを実施しています。この指針を適正に運用することで、地域の商業を守り、市民にやさしいまちづくりを目指していきます。			○
56	Q1	全体	まあまあ共感できる	基本計画全体については賛同できるが、「個店」「商店街」「まち」の考え方の前に中心市街地全体への集客の必要性を感じられない	第2次計画では、中心市街地を重点エリアとしています。商業の集積地である中心市街地へ集中的に商業振興施策を展開していきます。	○		
56	Q3	その他提案		来街者の利便性・快適性向上のために、中心市街地の景観整備やJR静岡駅北口の再整備(商業地域への地下道以外の通行方法など)商業基本計画のなかで検討されても良いのではないのでしょうか。	いただいたご意見は、関係部署と共有のうえ、今後の商業振興の参考とさせていただきます。			○
57	Q1	全体	共感できる	中心市街地でも、部分的に停滞していることを踏まえ、個店、商店街、中心市街地それぞれの問題解決に取り組み、さらにその努力に対して支援の手を差し伸べる姿勢がうかがえます。	商店街、中心市街地の活性化に向け、引き続き様々な施策を実施していきます。	○		
57	Q2	政策 2		各商店街とも、出来ることから改善の努力をし、ソフト事業を立ち上げ頑張ってきています。一方、ハード整備に関していえば、アーケードの老朽化・歩道の痛み、地震により倒壊の恐れがある電柱等、早急に取り組んでいただきたい問題もあります。商業支援の一環として、他部署との連携により、これらの解決をよろしく願いいたします。	ハードの問題については、関係部署と共有のうえ、解決に向け検討してまいります。			○
57	Q3	政策 3		現在行われている「まちは劇場」の商業振興策は有効であり、さらに継続をお願いしたい。	いただいたご意見は、関係部署と共有のうえ、今後の商業振興の参考とさせていただきます。			○

58	Q1	政策 1	共感できる	基本計画の基本的な考え方として「行ってみたい」「寄ってみたい」と思ってもらえる商業空間づくりの取組に対し共感しました	「行ってみたい」「寄ってみたい」と思ってもらえる商業空間の実現に向け、施策を実施していきます。	○		
58	Q2	政策 3		商業空間づくりについては、小売のみならず、静岡市の構想として取り上げられているアリーナ建設、清水エスパルスの新スタジアム建設についても完成されれば大きな人流が生まれ、地域の発展・賑わい創出につながるものと考えます。	本市が検討している大規模事業との連携についても、機を逸することなく連携できるように、関係部署と情報共有、連携を進めていきます	○		
59	Q1	政策1	まあまあ共感できる	商店街など、応援しないといけない部分に着目しつつ、頑張る商業に手を入れる計画になっているから。	当計画では、地域全体の商業の状況を見つつ、とくに支援する必要がある中心市街地や商店街に視点を当てて振興策を検討しています。また、個店は商業の主役であり、本市の商業が発展していくには、創業を含めた個店の成長が不可欠であると認識しています。個店の成長を支えることで、まちの活性化を目指していきます	○		
59	Q2	その他提案		郊外の大型店の振興は、中心部の衰退に直結する懸念がある。より慎重な対応を望みます。	本市では、良好な商業環境の形成に関する条例・指針を平成25年に策定しており、地域に合わせて望ましい商業を誘導できるようにゾーニングを実施しています。この指針を適正に運用することで、都心へ商業を集積させるとともに、地域の商業を守り、市民にやさしいまちづくりを目指していきます。			○
59	Q3	政策 3		街の中の人通り、滞留を増やしてあげられるような、公共空間の質の向上を望みます。	いただいたご意見は、関係部署と共有のうえ、今後の商業振興の参考とさせていただきます。			○
60	Q1	政策1	まあまあ共感できる	賑わい、商業発展のために必要だから	商業の発展のために、第2次計画を着実に推進していきます。	○		
60	Q2	政策 1		賑わい、商業の発展		○		
61	Q1	目指す将来像	共感できる	目指す将来像が良いと思ったから	目指す将来像の実現に向け、基本方針に基づいて着実に計画を推進していきます。	○		
61	Q2	政策 2		学生との連携	学生との連携をはじめ、これからを担う若い力を積極的に取り入れていきます	○		
61	Q3	その他提案		消費者のニーズと個店・商店街を適合するための聞き取り	ご意見のとおり、まずは消費者のニーズを正確に捉える必要があります。商店街の求められる役割等の分析を進めるにあたり、ニーズ調査を調査していきます。			○
62	Q1	全体像	まあまあ共感できる	静岡県および静岡市は、ネット等の記事によると「住みやすい・住みたい都市」の上位にランクされている反面、実際は「流出超過」の状況にあるのは解せない。また、人口の自然減に加え、コロナ禍もあり静岡に勢い・活気が失われて来ているように感じられる。かつてのにぎわいを取り戻すため、「魅力ある住みやすいまちづくり」に知恵を絞り、行動していくことは共感できる	魅力ある住みやすいまちを目指すために、市民の皆様が買い物しやすい、買い物が楽しい空間の創出を目指していきます。	○		
62	Q2	その他提案		基本計画なので目指すところが主となるのは仕方がないが、全体的に変わり映えせずスローガンの掲示のように感じられてしまう。思うに「施策の取組例」の中には「連携・強化・支援」等で締められている部分が多く、「具体的に、どのように行動するのか」を示してもらえばもう少しわかりやすくなると思う。	基本計画であるため、幅広く取組を網羅しつつ、重点的取組として、まちづくり人材の育成や中心市街地の重点エリア化等を盛り込んであります。事業実施に当たっては、メリハリをつけ、尖った取組にしています。			○
62	Q3	その他提案		①高齢者に対する公共交通利用促進 ○横浜他で導入されている「寿乗車券(無料・割引)」の配布 ・高齢者が外出しやすい環境(きっかけ)を提供することで、まちへ人を呼ぶことができる 人が流れることで消費が生まれ(外出すれば多少なりとも消費行動をとると考える) 外観上で入出が増えればさらなる人手を呼ぶ(賑わいの創出) ・高齢者の健康維持に繋がり、医療費負担も減る可能性もある(旭川市事例を参照) 外出＝歩行(歩くことでの健康維持)、精神衛生の改善による呆け予防の可能性(ショッピング＝人とのコミュニケーション、外出による気分転換の効果等) ○周遊(観光)バスの運行(指宿市事例を参照) 観光客の目線で、現状静岡に於ける観光地(名所、旧跡、繁華街)を効率よく回る術が整えられているとは感じない (例…三保の松原と用宗を結ぶ直通バス路線は無い) ・バス路線は放射線状路線が多いため、観光地同士の横の移動には向かない、巡回路線があれば効率よく観光することができる(一日乗車券) ・巡回バスは地域住民も利用でき市民の足にもなる ・静岡市が進めるサイクルツーリズムの一環としてバスに「自転車積む機能」をつけても良いと思う(バス停にシェア自転車を配置することも一考) ○史跡・繁華街等観光しやすい環境(函館市他事例を参照) 静岡の路上に於ける観光案内表示(案内地図版等)が少ないと思われる ・函館市には、歩道上に観光地の名称と方面矢印の表示があり、随所にある観光案内版(地図)と合わせることで地図が無くとも観光をすることができた。 ・観光局向けに、観光案内ナビ機能が付いたアプリを開発してもらえれば助かる。	いただいたご意見は、関係部署と共有のうえ、今後の商業振興の参考とさせていただきます。			○